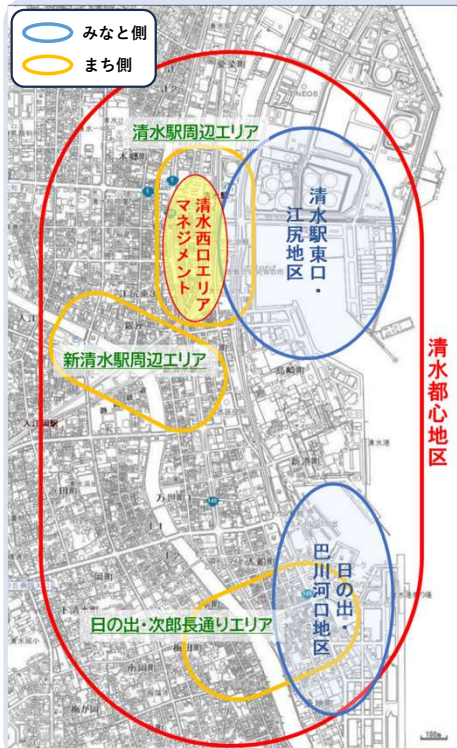




対象エリア 清水都心地区
※静岡市都市計画マスタープランに示されている重点地区

背景

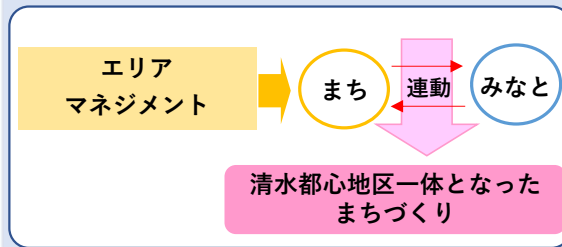
・清水都心地区のまちづくりの目標
まちと港が融合する都心
(静岡市都市計画マスタープランより)

・みなと側の動き

「清水みなとまちづくりグランドデザイン※」に基づく
公民連携のエリア活性化に向けたプロジェクトが進行中
※清水港まちづくり公民連携協議会策定

・まち側の動き

地元主体のまちづくり活動が加速中。
(令和5年度にまちづくり会社が設立 など)



清水駅周辺エリア

まちづくり会社を核とした、地域の組織体制、運営方法の構築

現状・課題

清水駅周辺エリアにおいては、過年度の業務でまちの現状・課題・目指すべきまちの姿（将来あるべき姿）を描いている。また、令和5年度にまちづくり会社が設立され、具体的なまちの変化の兆しが見えている。

一方で、まちづくり会社の認知度が低い、活動資金や人材がない、地域のコンセンサスを得る場がない等の課題がみられる。



まちづくり会社主催イベント

令和7年度業務

- ①他都市の事例調査（エリアプラットフォームの組織体制、活動内容、資金調達の方法）
- ②メンバー構成の検討（関係しそうな団体の洗い出し、調整）
- ③組織体制、運営方法の構築支援
- ④資金調達の方法、法的整理、関係部署調整の支援
- ⑤庁内他部局の動きとの連携



日の出・次郎長通り周辺エリア

地域で芽を出しているまちづくり活動の支援、伴走

現状・課題

日の出・次郎長通り周辺エリアにおいては、次郎長通り商店街を中心として、マルシェ等の様々なイベントが民間の発意で実施されており、まちづくりの機運が少しずつ醸成されている。また、清水港日の出エリアは、クルーズ客船の増加に伴いインバウンド需要が期待される地区である。

一方で、まちづくりへの参画者が少ないことや、歴史を感じる古い建物が解体され商店街の街並みが失われてきていることが課題となっている。



ジロチョウマーケット

令和7年度業務

- ①歴史を感じる街並みの保全やインバウンド需要に関する地元住民等の意向調査
- ②地元の人が知る歴史などの聞き取りによる地域の魅力発掘
- ③令和6年度委託業務の成果「目指す将来像」のブラッシュアップ
- ④今後のエリアマネジメントの進め方、手法の検討

新清水駅周辺エリア

地域課題、目指す将来像を地域住民等と共有

現状・課題

新清水駅周辺エリアにおいては、地域住民等のまちづくりに対する機運醸成や人材発掘が課題となっている。

このため、令和6年度に取りまとめた地域の現状・課題・目指す将来像を地域住民等と共有し、地域の機運醸成を図る。

令和7年度業務

- ①地域のまちづくりを担う人材の発掘
- ②地域の現状・課題・目指す将来像の共有

契約方法の選定理由

選定方法：公募型プロポーザル方式

選定理由

本地区では令和6年度にまちなかの現状・課題を洗い出すとともに、「将来あるべき方向性」を地元住民等と話し合い、特に清水駅西口においては実現化のためのワークショップを重ねてきた。

令和7年度では、それぞれのエリアにおいて地域主体の持続的なエリアマネジメントの推進を支援するにあたり、まちづくりへの参画者や人材発掘、エリア内の関係者が情報を共有し地域の醸成を図る等の課題がある。

この課題解決には、提案の質、技術力、事業者の経験などの技術提案によって最も優れた成果が期待できることから、公募型プロポーザル方式を採用する。